

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【公表番号】特表2009-513192(P2009-513192A)

【公表日】平成21年4月2日 (2009.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-013

【出願番号】特願2008-536883(P2008-536883)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

F 0 4 D 29/42 (2006.01)

F 0 4 D 25/16 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

A 6 1 M 16/00 3 1 5

A 6 1 M 16/00 3 4 3

A 6 1 M 16/00 3 6 6

F 0 4 D 29/42 M

F 0 4 D 25/16

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年2月6日 (2012.2.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気体源から目的地点まで気体を移送するためのブロワであって、前記ブロワは、
ブロワモータ組立体と、少なくとも部分的に前記ブロワ組立体を覆おう可撓性エラスト
マー部品と、を備え、前記可撓性エラストマー部品及び前記ブロワモータ組立体は、協働
して、それらの間に気体流通路を少なくとも部分的に画定し、

前記可撓性エラストマー部品は、前記ブロワモータ組立体の 1 つ以上の断間へ前記気体
流通路に沿って気体を送るように構成され、また、前記ブロワモータ組立体は、前記可撓
性エラストマー部品によって少なくとも部分的に支持されており、複数の弾性部材を含む
前記可撓性エラストマー部品は、当該ブロワの筐体上で前記ブロワモータ組立体を支持す
るように構造化されることを特徴とするブロワ。

【請求項 2】

前記可撓性エラストマー部品は、略カップ状であり、周側壁及び底壁を有していることを特徴とする請求項 1 に記載のブロワ。

【請求項 3】

複数の前記弾性部材は、前記スリーブの前記底壁に形成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のブロワ。

【請求項 4】

前記可撓性エラストマー部品は、シリコンゴム材料から構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のブロワ。

【請求項 5】

前記可撓性エラストマー部品は、熱可塑性エラストマーから構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のブロワ。

【請求項 6】

前記可撓性エラストマー部品は、可撓性スリーブの形状を成すことを特徴とする請求項 1～5 のいずれか一項に記載のプロア。

【請求項 7】

前記気体流経路は、前記プロアモータ組立体の少なくとも一段目と二段目との間に気体を送ることを特徴とする請求項 1～6 のいずれか一項に記載のプロア。

【請求項 8】

前記可撓性エラストマー部品は、振動絶縁機能をもたらしことを特徴とする請求項 1～7 のいずれか一項に記載のプロア。

【請求項 9】

請求項 1～8 のうち少なくとも一項に記載のプロアを備えていることを特徴とする持続的気道陽圧法（C P A P）装置又は非侵襲的陽圧換気療法（N I P P V）装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 6】

可撓性を有するモータスリーブ 2 7 2（図 2 3，2 4，3 5、及び 3 6）は、プロアモータ組立体の略全体を囲んでいるが、第 2 の渦形室構成部品 2 5 0 の排出口 2 7 6 を受容するために切欠部 2 7 4 を含んでいる。スリーブ 2 7 2 は、内部構成部品の振動及び／又は共鳴を減衰するエラストマー部品である。スリーブ 2 7 2 を利用することによって、一般的なモータ組立体と比較して少ない部品点数で構成することができる。スリーブ 2 7 2 は、アルミニウムをインサート成形したものであるか、又は頂部蓋及び／又は底部蓋と一緒に成形したものであっても良い。